

科目コード	R24218	科目名	物理療法学演習				
履修区分	必修	開講期	1年後期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	石倉 英樹・田邊 淳平・中川 敬汰						
授業の概要	物理療法機器について、具体的な使用方法や生体に対する反応を理解する。また、機器の使用について体験し、理解を深める。						
DPとの関連	平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						-
	修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						
	高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						
	地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						
	2025年度以降の学則適用者用のディプロマ・ポリシーとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は、項目順や表現が異なります DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	各物理療法機器が生体に与える影響を理解する。 物理療法の適応・リスクを理解し、適切な機器使用ができるようになる。 臨床場面における物理療法機器の使用を考慮できるようになる。						
履修上の注意事項	物理療法学との関連して講義が進行する。 実技に適した服装で受講すること。 毎回の演習レポートをまとめる。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	オリエンテーション、物理療法学概論 ・物理療法の適応症状、疾患【石倉】				物理療法の適応症状を具体的にイメージしておく。（60分）	
	2	温熱療法 ・温熱療法の効果【石倉・田邊・中川】				温熱療法の効果を整理する。（60分）	
	3	温熱療法 ・ホットパック、パラフィンを用いた治療方法【石倉・田邊・中川】				温熱療法機器の使用手順についてイメージしておく。（60分）	
	4	寒冷療法 ・寒冷療法の効果【石倉・田邊・中川】				寒冷療法の効果を整理する。（60分）	
	5	寒冷療法 ・コールドパック、アイスバッグ、コールドスプレー、クリッカーを用いた治療方法【石倉・田邊・中川】				寒冷療法機器の使用手順についてイメージしておく。（60分）	
	6	電磁エネルギーを用いた物理療法 ・電磁エネルギーの効果、エネルギー変換熱（マイクロ波、超短波）を用いた治療方法【石倉・田邊・中川】				電磁エネルギーの効果を整理する。エネルギー変換熱を用いた機器の使用手順をイメージしておく。（60分）	
	7	電磁エネルギーを用いた物理療法 ・光線療法（赤外線、レーザー、紫外線）を用いた治療方法【石倉・田邊・中川】				光線療法機器の使用手順についてイメージしておく。（60分）	
	8	電磁エネルギーを用いた物理療法 ・電気刺激療法（TENS、NMES）を用いた治療方法【石倉・田邊・中川】				電気刺激療法機器の使用手順についてイメージしておく。（60分）	
	9	力学的エネルギーを用いた物理療法 ・力学的エネルギーの効果【石倉・田邊・中川】				力学的エネルギーを用いた物理療法の効果を整理する。（60分）	
	10	力学的エネルギーを用いた物理療法 ・超音波、振動刺激、圧迫、牽引を用いた治療方法【石倉・田邊・中川】				力学的エネルギーを用いた物理療法機器の使用手順についてイメージしておく。（60分）	
	11	水治療法 ・水治療法の効果、温浴、冷浴、水中運動療法を用いた治療方法【石倉・田邊・中川】				水治療法の効果を整理する。水治療法機器の使用手順をイメージしておく。（60分）	
	12	温熱療法 ・寒冷療法の臨床・温熱療法、寒冷療法機器を用いた演習【石倉・田邊・中川】				温熱・寒冷療法機器が生体に及ぼす影響をまとめ、考える。（60分）	
	13	電磁エネルギーを用いた物理療法の臨床 ・電磁エネルギーを用いた物理療法機器の演習【石倉・田邊・中川】				電磁エネルギーを用いた物理療法機器が生体に及ぼす影響をまとめ、考える。（60分）	
	14	力学的エネルギーを用いた物理療法、水治療法の臨床 ・力学的エネルギーを用いた物理療法、水治療法機器を用いた演習【石倉・田邊・中川】				力学的エネルギー、水治療法が生体に及ぼす影響をまとめ、考える。（60分）	
	15	総括 ・各物理療法のまとめ【石倉】				今までの講義をまとめ、復習しておく。（60分）	
成績評価方法	毎回の演習レポート50%、期末試験50% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	物理療法学テキスト 改訂第3版（南江堂）					978-4-524-25179-7	
参考書	Crosslink 理学療法テキスト 物理療法学（メジカルビュー社）					978-4758320061	
	エビデンスから身につける物理療法（羊土社）					978-4758102216	
教員からのメッセージ	物理療法機器を実際に使用するイメージをつけるため、しっかりと機器を操作していくこと。						
教員との連絡方法	オフィスパワーを活用すること						
実務経験のある教員	病院や施設での理学療法士としての臨床経験を基に、物理療法を用いた介入について、講義や実技を行う。						